
2024年2月期 第1四半期決算

<参考資料>

2023年 6月28日

くらしの「あたらしい幸せ」を発明する。



J. FRONT RETAILING

<1Q決算サマリー>

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行、訪日外国人観光客の増加など人流・消費回復により増収増益
- ◆ 上期業績予想に対する1Q進捗は、売上収益及び各利益ともに概ね計画通りに推移
- ◆ 上期・年度業績予想は、4月公表から変更なし

2023年3月1日付の組織再編に伴い、株式会社パルコからJ.フロント都市開発株式会社へ不動産が移管されております。これに伴い、前第1四半期連結会計期間の期首より、移管されたものとみなし遡及修正しております。

- ▶ 売上収益は、主力の百貨店事業をはじめ各事業ともに増収
- ▶ エネルギーコスト上昇など経費増も、連結業績は事業利益、営業利益、四半期利益ともに増益

(単位：百万円、%)

2023年度 (2024年2月期)	I Q (3-5月)	対前年	
		増減高	増減率
総額売上高	263,818	36,653	16.1
売上収益	93,456	11,551	14.1
売上総利益	45,831	5,285	13.0
販売管理費	36,000	2,499	7.5
事業利益	9,831	2,786	39.6
その他の営業収益	1,061	△199	△15.8
その他の営業費用	723	△22	△2.9
営業利益	10,169	2,609	34.5
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	6,397	423	7.1

(単位：百万円、%)

2023年度 (2024年2月期) 1Q (3-5月)	売上収益			事業利益			営業利益		
	実績	対前年		実績	対前年		実績	対前年	
		増減高	増減率		増減高	増減率		増減高	増減率
百貨店事業	54,161	5,349	11.0	4,859	2,209	83.4	4,504	2,241	99.0
SC事業	14,137	1,089	8.3	2,484	203	8.9	3,148	196	6.6
デベロッパー事業	16,753	3,276	24.3	1,384	625	82.3	1,615	653	67.8
決済・金融事業	3,236	82	2.6	732	△280	△27.7	686	△339	△33.1
その他	13,420	45	0.3	476	69	16.8	703	252	55.9
調整額	△8,253	1,709	—	△105	△39	—	△487	△393	—
合計	93,456	11,551	14.1	9,831	2,786	39.6	10,169	2,609	34.5

- ▶ 高額品消費の好調持続に加え、国内旅行者や訪日外国人観光客の増加もあり、客数・売上高ともに伸長
- ▶ 売上比例経費や光熱水費など経費増も、事業利益は着実に改善

(単位：百万円、%)

2023年度 (2024年2月期)	1Q(3-5月)		
	実績	対前年	
		増減高	増減率
総額売上高	169,692	21,578	14.6
売上収益	54,161	5,349	11.0
売上総利益	35,206	3,940	12.6
販売管理費	30,346	1,730	6.0
事業利益	4,859	2,209	83.4
その他の営業収益	84	△98	△53.8
その他の営業費用	439	△131	△22.9
営業利益	4,504	2,241	99.0

- ▶ 既存店合計は2019年度比で△4.0%、除く免税売上はプラスに
- ▶ 心齋橋・神戸・名古屋店は好調持続。ターミナル店舗も大きく改善

(増減率、%)

2023年度 1Q (3-5月)	対前年比較		2019年度比較	
	全体	除く免税売上	全体	除く免税売上
心齋橋店	34.4	11.2	△12.1	23.8
梅田店	20.5	15.0	△18.0	△13.2
東京店	35.7	28.1	△4.9	△6.4
京都店	15.6	8.7	△3.1	△1.6
神戸店	8.9	8.3	14.5	15.5
札幌店	16.4	10.8	3.6	10.0
名古屋店	10.7	9.8	3.6	6.5
直営店 (既存店) 合計※	16.8	11.1	△4.0	1.7
免税売上	399.5	—	△47.4	—

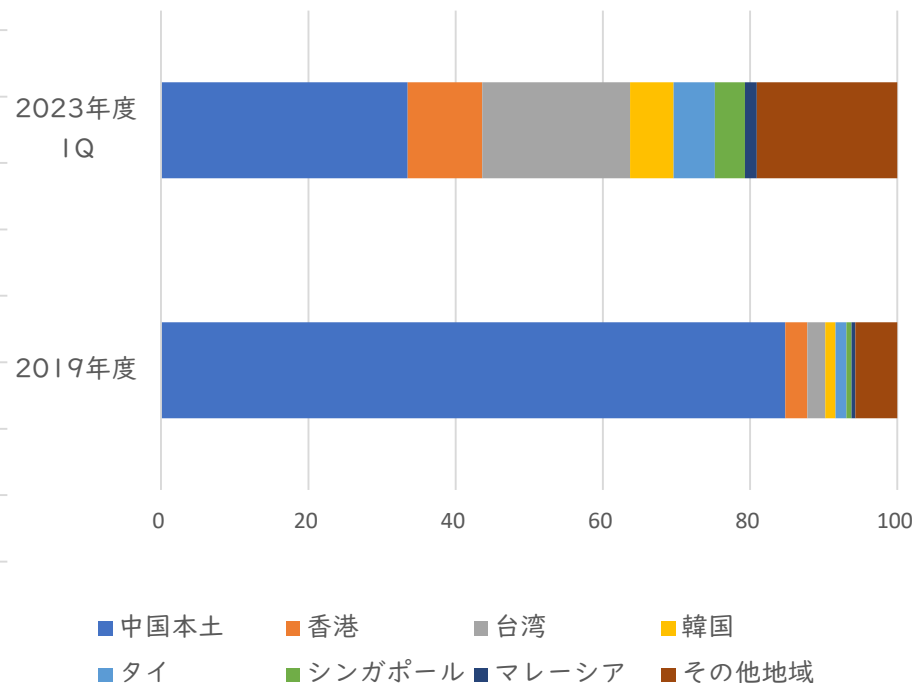
※2019年度比較では山科店、下関店、豊田店実績を除く

- ▶ 1Q実績は対2019年度比で約5割、5月単月は同約6割近くまで回復。
1Q計画を上回って推移
- ▶ 地域別売上の構成は、中国本土を除く地域で約2/3。今後、航空便数等の回復が進むことで、中国本土を含めた訪日客増に期待

コロナ前（2018～2019年度）との対比



地域別の売上構成比（全体100）



※2019年度比は山科店、下関店、豊田店実績を除く

- ▶ 対前年の増加要因は、主に売上増に伴う経費増加や光熱水費の上昇
- ▶ 対19年度比は構造改革効果もあり△約14億円を圧縮

(単位：百万円)

項目	2023年度 1Q	対前年 増減高	対19年 増減高	対前年 主な増減要因
人件費	7,219	0	1,044	
広告宣伝費	2,500	217	8	【人件費】 ・生活支援手当 +1.4億円
包装配達費	265	△43	△154	【広告宣伝費】 ・広告・販売促進 +0.8億円 ・催事企画・装飾 +1.0億円
減価償却費	5,196	△142	△304	
作業費	2,841	18	△255	【その他】 ・売上比例経費 +3.3億円 ・光熱水費 +2.6億円 ・業務委託費 +1.1億円
その他	9,480	1,604	△1,829	
販管費合計	27,503	1,654	△1,491	

- ▶ 人流回復・訪日外国人観光客の来店増により、売上高は改善持続
- ▶ 増収効果に加え、保有資産売却益などにより事業利益・営業利益も増益

(単位：百万円、%)

2023年度 (2024年2月期)	1Q(3-5月)		
	実績	対前年	
		増減高	増減率
総額売上高	69,467	9,296	15.4
売上収益	14,137	1,089	8.3
売上総利益	4,736	608	14.7
販売管理費	2,252	405	21.9
事業利益	2,484	203	8.9
その他の営業収益	814	56	7.4
その他の営業費用	150	63	72.5
営業利益	3,148	196	6.6

- ▶ 渋谷・心齋橋PARCOは訪日外国人観光客増の効果もあり好調牽引
- ▶ 2019年度比較では全店計で+2.8%、既存店は前年度△15.0%から1Q △10.7%と基調上昇

(増減率、%)

2023年度 (2024年2月期)	対前年比較	2019年度比較
	1Q	1Q
仙台PARCO	18.2	△5.0
浦和PARCO	9.2	△1.3
池袋PARCO	18.0	△15.5
渋谷PARCO	62.6	—
調布PARCO	9.1	△3.5
名古屋PARCO	8.5	△20.3
心齋橋PARCO	52.7	—
広島PARCO	7.5	△20.6
福岡PARCO	26.1	△0.5
全店合計	15.6	2.8
既存店合計※	20.4	△10.7

- ▶ J. フロント建装における大型工事等の受注増などにより増収
- ▶ 不動産所有持分の売却益なども加わり、営業利益も増益

(単位：百万円、%)

2023年度 (2024年2月期)	1Q(3-5月)		
	実績	対前年	
		増減高	増減率
総額売上高	16,753	3,562	27.0
売上収益	16,753	3,276	24.3
売上総利益	3,182	890	38.8
販売管理費	1,797	264	17.3
事業利益	1,384	625	82.3
その他の営業収益	231	0	△0.2
その他の営業費用	0	△28	△97.1
営業利益	1,615	653	67.8

- ▶ 百貨店及び外部加盟店での取扱高伸長などにより増収
- ▶ 貸倒償却費用や事業基盤拡大に向けた投資費用、人件費等の増加などにより減益

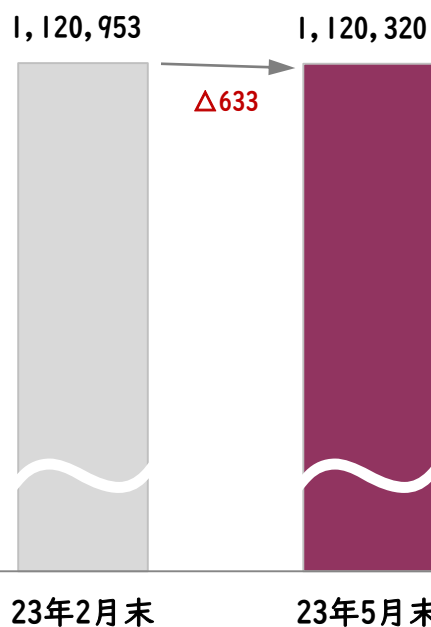
(単位：百万円、%)

2023年度 (2024年2月期)	1Q(3-5月)		
	実績	対前年	
		増減高	増減率
総額売上高	3,236	82	2.6
売上収益	3,236	82	2.6
売上総利益	3,236	82	2.6
販売管理費	2,504	363	16.9
事業利益	732	△280	△27.7
その他の営業収益	12	△2	△13.6
その他の営業費用	58	57	—
営業利益	686	△339	△33.1

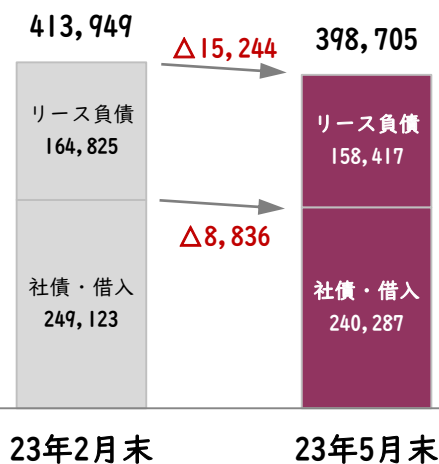
- ▶ 資産合計はデベロッパー事業中心に投資推進も、対前期末△6億円減少
- ▶ 計画通り有利子負債の返済を進め、財務健全性を強化

(単位：百万円)

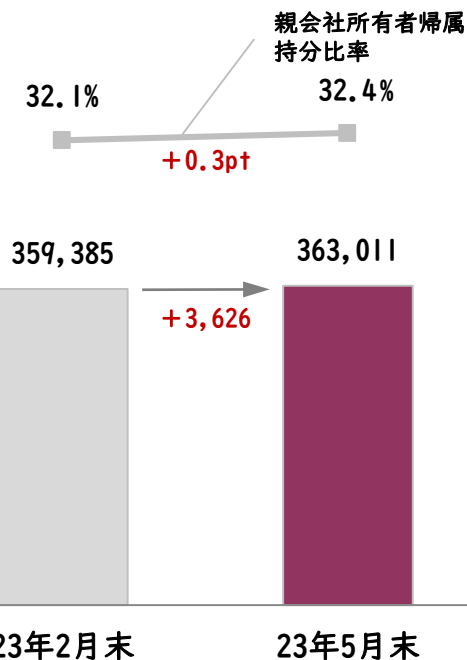
資産合計



有利子負債

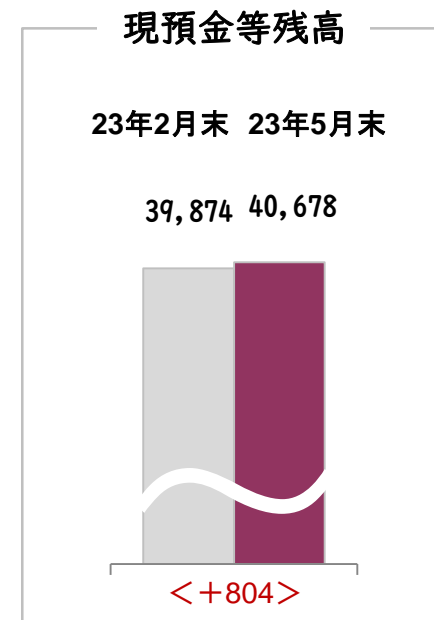
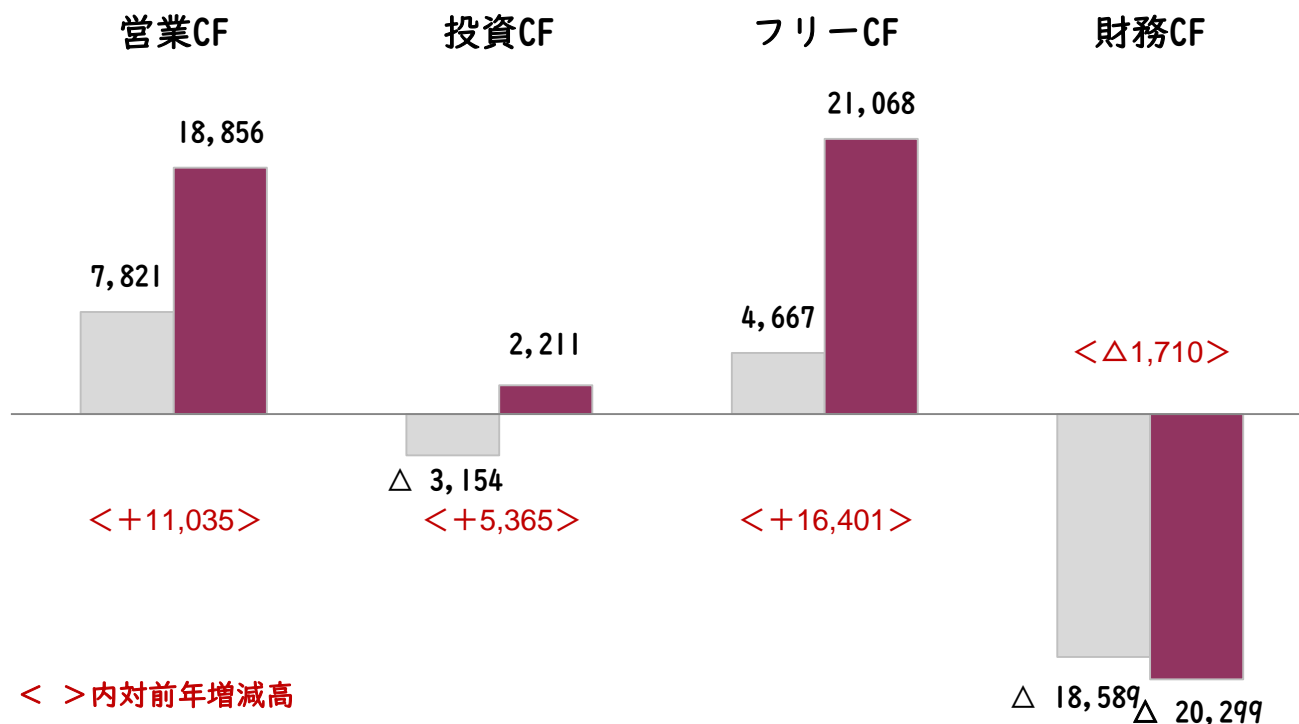


親会社の所有者に帰属する持分



- ▶ 営業キャッシュ・フロー(CF)は利益増などにより対前年+110億円増加
- ▶ 投資CFはデベロッパー事業中心に投資推進も、資産売却により22億円の収入
- ▶ フリーCFは210億円、対前年+164億円増加

(単位：百万円)



< > 内対前年増減高

■ 22年度IQ実績

■ 23年度IQ実績

Website

<https://www.j-front-retailing.com>

くらしの
「あたらしい幸せ」を
発明する。



J. FRONT RETAILING

本資料における業績予測や将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。従いまして、様々な要因の変化により実際の業績は見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。